

令和5年度第4回技術研究会

「商店街など、中心市街地の活性化に関する研究」

URCA 一般社団法人 再開発コーディネーター協会
Urban Renewal Coordinator Association of JAPAN

人口減少や高齢化が著しい今、特に地方都市において都市機能の持続性に危機感を覚えるところも少なくありません。それらの課題解決として、コンパクトシティ政策から、コンパクト+ネットワークの取組など、各地で実践していることかと思えます。今回は、それらの都市の実情や課題などを深掘りし、商店街や商業施設目線から見て、コンパクトシティ化のもたらす効果や課題を検証し、商店街の活性化や商店街の再開発のあり方など、将来の方向性を探っていきたいと思えます。

と言うわけで、今回の技術研究会では、連鎖型再開発などによって衰退していく商店街を再生し、コンパクトシティ化を成功に導いている都市と言われている、香川県高松市から丸亀町商店街振興組合理事長古川氏を講師にお迎えし、実体験を含めてディスカッションしたいと思います。

高松市の中心市街地にあるいくつかの商店街は全国屈指の規模を誇り、市民は皆総称して“マチ”と呼び、土日に買い物に繰り出す唯一の場として大変栄えてきました。しかし、2000年の大店法の撤廃を機に郊外に大型店が乱立し、一時は全国でも最高レベルの大型点シェアとなった時期もあり、人は皆、郊外に車で出かけるようになり、またマチの百貨店も衰退、商店街からは魅力的なテナントが抜けていきました。しかしその後、中心市街地にはマンションや駐車場を伴った複数の再開発や民間開発が進み、今は、賑わいがかなり戻って来てはいますが、将来に向けた開発は引き続き必要で、また商店街のマネージメントにおける課題も少なくないと思えます。そこで、地方都市の再開発や、商業施設のあり方について研究したいと思います。中心市街地等の開発事業者の皆様、自治体の皆様他、その他再開発推進に携わる関係者の皆様の今後の取り組みの一助になれば幸いです。

◇内 容

1. 地方都市のコンパクトシティ化のもたらす効果についての検証
2. 高松市丸亀町商店街の再開発等による商店街の活性化
3. 再開発やエリマネによる商店街の活性化は可能か（テナントミックス、エリマネ他）
4. 商店街及び商業（商売）の存在性と未来を考える

◇講 師

株式会社 オーク計画研究所

代表取締役会長 有田 浩志 氏

(一社)再開発コーディネーター協会 事業企画委員会 委員長

高松丸亀町商店街振興組 理事長 高松まちづくり株式会社 代表取締役

丸亀町不動産株式会社 代表取締役 古川 康造 氏

◇コーディネーター

株式会社 都市びろ計画事務所

プロジェクトマネージャー 鐵 真孝 氏

(一社)再開発コーディネーター協会 事業企画委員会 委員

◇都市計画 CPD

当プログラムは都市計画 CPD 単位の認定を受けています。

日 時：令和5年12月12日(火) 14:00~17:00

場 所：ビジョンセンター浜松町(住所：港区浜松町2-8-14 浜松町TSビル)

※会場が外部会場ですので、ご注意ください。(https://www.visioncenter.jp/hamamatsucho/access/)

定 員：50名前後(但し、定員になり次第、締切と致します。)

参加費：15,000円(会員は13,000円)(税込)

※事前振込とし、当日参加費の現金取扱いは致しません。

申込方法：下記①、または②の方法にてお申込み下さい。

①右記申込みフォームよりお申込み下さい。【<http://urca.or.jp/mailform/gijyutu05/gijyutu05entry.html>】

②下記申込欄にご記入のうえ、FAXまたはメールにてお申込み下さい。

FAX 03-3454-3015 メール: jigyuu@urca.or.jp

※ 参加される方は、各々マスクをご用意頂きますよう、お願い致します。

※ 受講当日は、受講票(後日送付)を忘れずにお持ちいただきますよう、お願い致します。

なお、開催の5日前までに入金確認が取れない場合、受講票は無効となります。

会社名：..... 電 話：.....

請求書送付先：(〒 -).....

請求書宛名：.....
会員種別【 1.個人会員(正・賛助) 2.法人会員(正・賛助) 3.一般 】

所 属・役 職 名	氏 名	連絡先メールアドレス